

と しょう

あき

ごう

みらいかん図書室だより 秋のはじまり号

あたら ほん しょうかい

新しく入った本の紹介



「いちごちゃん おいで」水彩のやさしい色合いと、リズムカルなことばがかわいい、あかちゃんえほん。みんなのだいすきな、くだものが登場です！



全てのページの真ん中に、ぽっかり穴が…！絵本のいちばんうしろについている主人公のかわいい指人形をその穴から動かしながら、絵本を楽しめます！



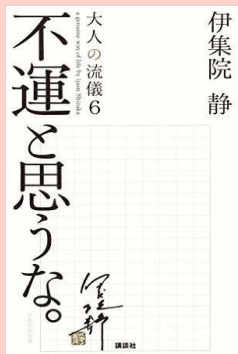
「きむらゆういち食育しかけ絵本」シリーズ最新作！ホットケーキの絵をこすると、メイプルシロップの甘い香りがする楽しい絵本！ふわふわホカホカおいしいそんなホットケーキをめぐる、心あたたまるお話です。



山深い田舎町に暮らす女子高校生・三葉は、自分が男の子になる夢を見る。見慣れない部屋、見知らぬ友人、目の前に広がるのは東京の街並み。一報、東京で暮らす男子高校生・瀧も、山奥の町で自分が女子高校生になる夢を見る。やがて二人は夢の中で入れ替わっていることに気づくが…。出会うことのない二人の出会いから、運命の歯車が動き出す…！



建築デザインの仕事をしている石川一登と校正者の妻・貴代美。二人は、高一の息子・規士と中三の娘・雅と共に、家族四人平和に暮らしていた。規士が高校生になって初めての夏休みが明けた9月のある週末。規士が家に帰ってこず、連絡も途絶えてしまい、心配していた矢先の息子の友人が殺害されたというニュースに二人は胸騒ぎを覚えた…。犯人だと見られる少年たちは逃走中…。息子が犯人なのか、それとも…。息子の無実を望む父と、犯人であっても生きていて欲しいと望む母の揺れ動く思い一。



不運と思うな。誰もがつらい時間と遭遇しているのが人生だ。それでも懸命に生きていけば必ず、君に光を与えてくれる。その時、君は、あの時間が不運だとは思わないはずだ。



“東北のマザー”が、生涯をかけて伝えたいことのすべて。森のイスキア・佐藤初女さん。今、この場所でいのち尽きるまで、私は「今」を生きています。去る2月1日、天に召された初女さんが、人生を通じて伝え続けていらしたと、多くの人々の救いとなってきたお心を66のメッセージとし、20年来の交流がある写真家・岸圭子さんの美しいカラー写真とともに贈ります。

平成28年度 芸術祭 読書週間イベントのお知らせ！



「絵本のお部屋」

日時 10月22日(土) 午前10時～午後3時頃まで
(いつからでも参加して頂けます)

場所 まろうど館2階(みらい館となり) 参加費無料!

梶原の町の中から誕生した、読み聞かせボランティアグループ
「絵本の小部屋」!



今年もまた、そんな「絵本の小部屋」のみなで、こどもからおとなまで、
たくさんの人たちに、見て、触れ合って、感じて、絵本の世界を
たっぷり楽しんでもらえるように、みらい館となりのまろうど館2階が、
よみ聞かせあり、人形劇あり、音楽のひとときありの、楽しさ
盛りだくさんの「絵本のお部屋」になります! 絵本もたくさん!

10時から11時までは「コッコさんによる
読み聞かせイベント」があります!!

ぜひ、お友だちと お子さんと お孫さんと
みんなでおいでください!



10時～11時
コッコさんによる、
楽しい読み聞かせ
タイム!

自由にえほん
を見ながら
ゆったり
音楽タイム

12時～13時
ランチ休憩など
自由タイム

お人形にも
さわれちゃう!
楽しい人形劇
タイム



おいしいコーヒーを飲みながら、チーズケーキを
食べながら、ゆっくりとお楽しみいただけます!



2016
第70回
読書週間
10月27日(木)～11月9日(水)
14日間



いざ、
読書。

10月27日は文字・活字文化の日
主催：公益社団法人 読書推進運動協議会
主催構成団体：一般社団法人、日本書籍出版協会、一般社団法人、日本読書協会、
一般社団法人、教科書協会、一般社団法人、日本出版文化協会、日本書紀出版協会、
公益社団法人、日本読書協会、公益社団法人、全国学校図書館協議会、読書・文部科学省



暑い夏も終わり、いつの間にか
秋がすぐそこまで、近づいて
きています・・・

そんな秋の夜長にぴったりの
一冊、きっと図書室にも
あるはず・・・

楽しい本、ドキドキする本、
ホロリ・・・としてしまう本、
笑ってしまう本、幸せな気持ち
になる本、などなど、色んな
本を体験してみませんか？

家族みんなんで楽しく読んで、
心豊かに育てて 育まれて、
素敵な秋の日を過ごして
くださいね・・・

終戦まもない1947年（昭和22）年、
中で「読書の力によって、平和な文化
出版社・取次会社・書店と公共図書館、
加わって、11月17日から、第1回
そのときの反響はすばらしく、翌年の
11月9日（文化の日を中心に2週間）
いきました。そして『読書週間』は、
世界有数の「本を読む国民の国」に
いま、電子メディアの発達によって、
しようとしています。しかし、その
人間性を育て、かたちづくるのに、
かわりありません。暮らしのスタイルに、
「本とのつきあい方」をとりいれて

まだ戦火の傷痕が至る所に残っている
国家を作ろう」という決意のもと、
そして新聞・放送のマスコミ機関も
『読書週間』が開催されました。
第2回からは期間も10月27日～
と定められ、この運動は全国に拡がって
日本の国民的行事として定着し、日本は
なりました。
世界の情報伝達の流れは、大きく変容
使い手が人間であるかぎり、その本体の
「本」が重要な 役割を果たすことは
人生設計のなかに、新しい感覚での
いきませんか・・・